

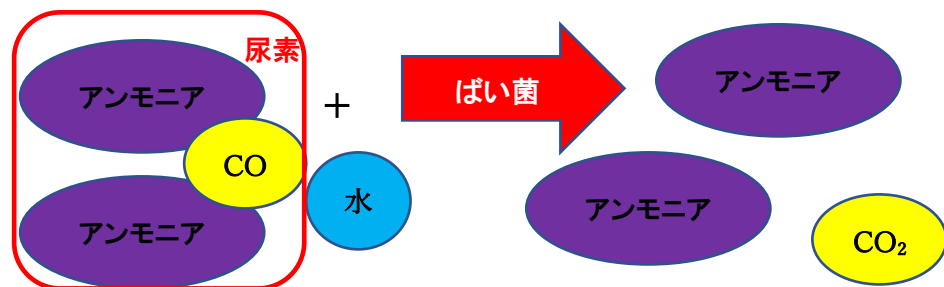
光触媒のトイレへの施工

消臭を主目的として光触媒がトイレに施工されるケースがよく見られますが、実は満足な成果を得るためには本来の「消臭機能」のほかに強い「殺菌機能」がぜひ必要です。



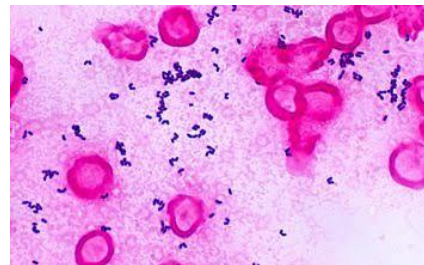
一般的な原理をご説明

とくに臭いの主犯と見なされている「オシッコ」つまり尿ですが、この臭気原因の主成分は「尿素」です。尿素は無味、無臭、無毒の物質ですがアンモニア 2 つを炭酸ガスでつないだ構造をしています。

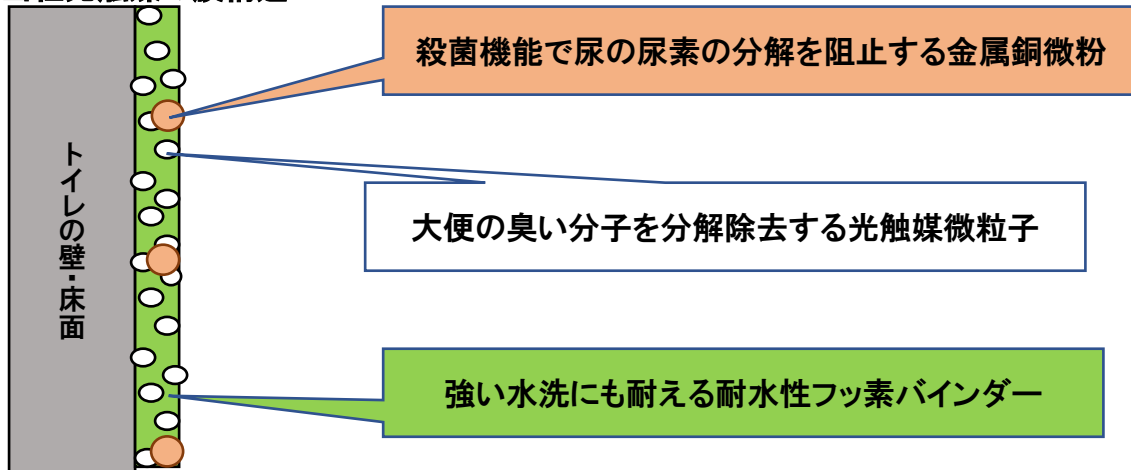


尿素はばい菌(ウレアーゼ産生菌)の作用で分解されてアンモニアを放出します。

大便は排出直後に臭いますが尿は排出直後には臭いませぬ。便器周辺に棲むばい菌が飛散した尿に含まれている尿素を分解してから臭うので時間が掛かります。



当社光触媒の膜構造



施工の方法・工程

とくに臭いの主犯と見なされている「オシッコ」つまり尿ですが、これの壁面や床面等の排泄物が飛散しやすい箇所を重点的に厚めに塗布しますが天井も悪臭の吸着面積を大きくする上では施工が望ましいです。照明器具への施工は無意味ですので不要です。

作業中はアルコール臭がしますので換気に気を配る必要がありますが施工後はすぐに飛散して滞留はしません。

施工後 30 分程度で乾燥しますので、それ以降はトイレを使用可能です。Instagram 動画でも施工風景はご覧になれます。



効果の反響

とくに不特定多数の人々が使用するトイレで施工直後から強力な持続的な消臭効果が実感できると、各地の施工現場から大好評を得ております。「1年以上効果が持続している」との驚きの感想も寄せられています。

光触媒の消臭機能がもっとも社会貢献できる分野ではないでしょうか。

余談ながらダイヤモンドプリンセス号での調査の結果、コロナウィルスがもっとも多く検出されたのはトイレの床でした。この感染症対策にもなります。



付随効果

ヒトだけでなく動物の排泄物も脱臭、分解できますので外装で施工すると犬や猫のマーキング対策にもなります。

ご質問や施工のご相談は(株)ケミカル・テクノロジー代理店の